全県版

全国知事会優秀政策審査

岡山県は4件表彰

森林活用や少子化対策

全国知事会が都道府県の優れた政策を表彰する「先進政策創造会議」が1日、東京都内で開かれ、岡山県は木質バイオマス発電や新建材CLT（直交集成板）による森林資源のフル活用が農林水産分野で1位となるなど4件が優秀政策として表彰された。

他の3件は、中高生への出前講座などを通して妊娠・出産の知識普及を図る少子化対策（健康福祉分野1位）、方言を活用した魅力発信（地域振興・まちづくり分野2位）、小学校区など広域的な地域運営による集落機能の維持（人口減少対策分野3位）。

全国では9分野で28件が優秀政策とされ、全国知事会長の山田啓二京都府知事から各担当者に表彰状が手渡された。各分野1位のプレゼンテーションにより、最優秀の大賞は全国からアイデアを募って中小企業の新商品開発を支援する鳥取県の事業に決まった。

同会議は8回目。都道府県の取り組みが閲覧できるインターネットサイト「先進政策バンク」に登録の約3千件のうち、各自治体が自薦した276件が審査対象となった。

（川中満仁）

優秀政策の表彰を受ける岡山県の担当者（右）